

包括支援センター聞き取り状況

	佐伯市	竹田市	杵築市
包括の運営	直営① 委託② 社協（全部委託）	委託① 社協（全部委託）	委託① 社協（全部委託）
委託に至るまでの経緯	H30年市内を3つのエリアに分ける。 ※従来から社協との人事交流は行われており、他部署や3名の保健師派遣。 R2年社協委託の協議開始 R3年に2箇所委託（保健師5名派遣出向人材育成のため）、社協から直営包括に人事交流を行った。 ※2年間の派遣と決めていた。 ●委託に向けて会計年度職員に意向調査実施、社協の正規職員となること、給与額の確保で社協へと移行した。 ●社協は公正中立的な立場ということで、他の法人の選択肢はなかった。	H18年度から委託（県退職保健師3年勤務して人材育成） H19年度市を退職した保健師が人材育成 H22年度から28年度（7年間交代）は市の保健師派遣（補佐級）による業務援助 H29年度から、社協のみで運営（※準じ、退職した保健師が社協に採用） 途中、直営または委託を再検討するが、人件費等はどちらにしても同額で変わらないことからH26年に継続して委託決定 市の行革進め、市の担当課が社協へ場所移動し連携が取れる、ただし市が予算確保をしっかりとすることが条件	R2年4月から社協へ委託 R2年4月から2年間は市職員2名派遣 ・事務職（センター長） ・社会福祉士（権利擁護業務）
職員体制	直営 27名 主任ケアマネ3名、社会福祉士3名 ケアマネ5名、保健師4名、看護師1名 認知症担当2名、事務9名（所長含む） 委託① 7名 委託② 7名	27名 主任ケアマネ3名、社会福祉士9名 ケアマネ4名、保健師4名 理学療法士2名、作業療法士1名 言語聴覚士1名、歯科衛生士1名 事務2名	9名 主任ケアマネ2名 社会福祉士 2名 ケアマネ 1名 看護師 3名 ※ケアプランの作成は7名が行う
予算とその内容	委託：3,500万×2か所=7,000万	5,599万円	4,200万円
市職員の出向	R3年度からR4年度で完了	H22年度からH28年度（7年間）で完了	R2年4月から2年間は市職員2名派遣 ・事務職センター長、 ・社会福祉士権利擁護業務
市と直営、委託との定例会開催	1回/月（1.5時間） 伝達事項、近況報告、配食サービス	高齢者福祉課との会議月1回開催 ※包括課内会議週1回 包括各係リーダー会議月1回	ケア会議のみ
包括運営協議会開催	市が実施（市主催した会議に参加する）	市が実施（市主催した会議に参加する）	市が主催で市が説明
委託事業の内容	包括業務：1,400万円 任意事業：2,770万円	包括運営5,599万円 認知症総合支援事業2,509万円 地域ケア会議127万円 介護予防・生活支援サービス事業273万円 地域リハビリ活動支援事業1,228万円 他機関協働事業1,290万円	包括業務：4,175万円 認知症看護師人件費：500万円 人件費：3,90万円 重層的支援事業：7,000万円
24時間対応	●直営 携帯あり（正規で1週交代） 年間300件内、緊急対応は20～30件、月換算で1件程度（警察や病院対応有）	24時間対応可能	24時間対応可能

	佐伯市	竹田市	杵築市
人材	R1年から、OT、PTの職員配置有	H28年からPT、OTを正規職員で配置 その後、歯科衛生士、言語聴覚士、管理栄養士を採用	
メリット・デメリット	<p>○虐待も直営包括でほとんど対応でき、市と綿密な連動ができるが、直営でない場合、現場との連動に疑問がある。</p> <p>○関係課との連携や情報共有がスムーズに行え、困難ケースなどへの対応能力は高い。</p> <p>○居宅介護支援事業所やサービス事業所との連携も比較的スムーズに行えている。</p> <p>○ケアマネの後方支援もできている。</p> <p>●今後も人材確保に課題大。</p> <p>●直営圏域1の担当と、2つの委託包括を取りまとめる基幹包括の役割を併せ持つため、責任も混在し、委託包括に比して負担も大きい。</p> <p>●市職員に専門資格を持つ職員がいなくなり、直営の今後配置基準が満たせなくなる可能性がある。</p>	<p>☆社協委託で事業がうまく展開できた</p> <p>○保健師の配置に重点をおいた（正規職員の配置ができない時は、市から派遣配置（7年間）</p> <p>○認知症施策が進んだ。</p> <p>○専門職の配置が自由にできた（PT、OT、ST、歯科衛生士、管理栄養士等）</p> <p>○社協の受託事業が多くなる中、包括と連携が取りやすく一体的に地域づくりができやすい。</p> <p>☆市の担当課と連携がよく取れた</p> <p>○同じフロアで業務を行い、定例の連絡会議も行っている。</p> <p>●職員の確保が難しい。慢性的な人員不足が課題となっています。</p>	<p>○社協に委託されていることで、民生委員や地域の方との距離が近く、相談件数も増えている。相談しやすい環境であると思う。</p> <p>●建物の距離が離れているため、市役所との連携・相談ができにくい。</p> <p>●社協への包括支援センター分の委託費が年々膨らんでいる</p>
その他	愛称：直営「さいき」 委託「ばんじょう」「あまべ」	H27年度社会福祉士は市へ応援派遣あり H27年度リハ職2名採用（PTとOT） 愛称「つるかめ」	